

自然と暮らし、自然に学ぶ、豊かな暮らしを考える情報誌

と自由にとろろ
TAKE FREE

2018.6
Summer Issue

[宮城版]

夏野菜で、
身体を
クールダウン。

#27

ふんわり



手のひらに太陽の家
里の暮らしをつないでゆく

くりこま高原自然学校
工房はひふへほ
「パラコードキーホルダー」

森林認証紙とリサイクル紙を
使用して作りました。

ふんわりズム、 ふんわりスト。 ism + ist

それぞれの場所で輝きながら、
スツと立っている人がいます。
しかも、ふんわり。
そんな人たちに、会いにきました。
ふんわりの、巻頭リレー。

むかい いきもの けんきゅうじょ

むかい＊いきもの研究所

むかつち博士
向井 康夫さん

Yasuo Mukai



幼稚園の卒園アルバムには、将来の夢について「虫博士になる」と書いていたそうです。いま願うのは、「いろいろな地域で生きもの博士が増えていつてほしい」ということ。地域に愛着を持ち、誇りを持って語ってくれる人が増え、生きものや自然を守る力になってほしい。そう語るほどに、自然環境の急速な変化が進み、危機感もあります。自然の中は多様性が溢れていて、ひとつしか正解がないという考えから脱することを見せてくれる、といえます。草花も生きものも、どんな相手とも心から向きあうむかつち博士。今日も耳を澄まし、季節の変化を楽しみながら、未来の生きもの博士たちのために学びを深めています。

☑

子どもたちの観察会では、専門的な言葉を使うよりも、手書きのイラストでわかりやすいパネルを作り、参加者の反応をじっくりとらえ、「わからないところ」を共有して、ひとつの気づきや学びに寄り添うことを心がけています。「レベルは下げずに、ハードルを下げる」ことで、参加する人がより深い自然の魅力に出会うためのお手伝いをしています。

愛くるしい表情の野鳥が描かれた、小さな缶バッジ。スズメやシジュウカラのまわりには、その日に咲いていた雑草を飾り、簡単だけど特別な作品を作ることができます。何気なく見ていた足元の草花も、じっくり見てみると色もデザインも多彩で豊か。自然や生きもののことを、難しいことではなく、身近に気軽に感じてもらうためのツールとして、むかつち博士が大切にしている思いから生まれたワークシヨップです。

叶った将来の夢「虫博士になる」。



data & information

Facebookページ

<https://www.facebook.com/mukai.ikimono/>

生きもの観察会、ワークショップ、出前授業、生きもの調査、研修など

f-ist
27

Yasuo
Mukai



02	ふんわりズム、ふんわりリスト。 むかいまいきもの研究所 向井康夫さん
04	日本の森バイオマスネットワーク 皮むき間伐ツアー 2018 in くりこま
05	しんりん 眠れる森への招待状 森を守る森林イノベーション
06	手のひらに太陽の家 里の暮らしをつないでゆく
06	ふんわりレビュー 樹と暮らす 家具と森林生態
07	くりこまくんえん 働く車大集合!
08	くりこま高原自然学校 すがっちコラム
08	工房はひふへほ パラコードキーホルダー
09	サスティナライフ 森の家 山への恩返し
10	イベントカレンダー
12	わたしたちのこと



06 05



07

Cover Photo

ふんわりリスト取材時の
ひとコマ。ルーペを通
して見える世界に好奇
心がムクムク。将来の
博士が生まれるのは、
こんな瞬間なのかもし
れません。



この印刷物は地産地消・輸送マイレージに
配慮したライスインキを使用しています。

ふんわりではホチキスを使用していません。リサイクルするときの
ことを考えて、このような形でお届けします。ちょっと不便けど
ちょっとやさしい。どうかご理解ください。

編集長 ぼすとすくりぷと

今回のふんわりリスト向井さんが教えてくれ
た田んぼという場の面白さと多様性。春か
ら秋にかけて突如出現する広大な湿地や水
辺環境には多様な生き物たちが田んぼのリ
ズムに合わせて暮らしているという。この夏
はいつもより意識して田んぼの生き物や多
様性に目を向けてみようと思う。

No staples.
ホチキスを
使わずに。



日本の森バイオマスネットワーク 宮城支部協カイベント



つやつやの樹の幹



子どもたちも真剣そのもの！

皮むき間伐ツアー 2018 in くりこま

メ
リメリメリ…「わー!」「あはははは!」

森の中に静かに広がる木の皮がむける音に続き、参加者の人々、子供たちの歓声、笑い声が響き渡ります。気持ち良いようにスルスルむける木、節があって引つ掛かり思うようにむけない木、1本1本違って、同じ木はありません。

毎年恒例の植林「山への恩返し」に続いて、「皮むき間伐ツアー2018 in くりこま」が開催されました。東日本大震災直後の

ツアーから、NPO法人日本の森バイオマスネットワーク宮城支部では開催協力をしていきます。

日本
バイオ
ネット



こちらの広葉樹たちも手入れを待っています。



森で記念撮影

今 回のツアーでは植林、皮むき作業、田中優さんのセミナーはもちろん、乗馬ふれあい体験、薪ステーション見学、製材・加工・乾燥・家具といった一連の工場見学、スプーン作り、と盛りだくさん。大人も子どもも皆さん笑顔あふれる、自然環境を森のいのちと共に考えるツアーとなりました。

秋 のツアーでは今回、皮むき作業をした杉の木を伐り倒します。みなさまのご参加を森でお待ちしております! 回



NPO法人日本の森バイオマスネットワーク
office@jfbn.org

山仕事のパートナーV



眠れる森への招待状



第5回目は「刈払い機」のご紹介です。

刈払い機は草を刈る機械。都会暮らしには縁のないものですが、田舎では一家に一台の必須アイテム。家周りの草刈、田畑の草刈、地域の草刈、NPO・都会だと公共事業ですが、田舎では道際や川辺の整備を地域の共同で行うことが多く、刈払い機持参で参加するのです。

木こりの仕事にも刈払い機は必須アイテム。植林したばかりの木は小さくて、放置すれば草に埋もれ、殆ど枯れてしまうことに。数年は周りの草を刈ってあげて成長を見守る必要があります。広大な面積を鎌で刈っていた昔はどんなに大変だったか：刈払い機があっても、暑いさなかの大変な仕事で



刃を研ぐ

す。しんりんでは、牛たちがその大変な仕事を担ってくれるので、大いに助かっています。とはいえ人手が必要な時もあり、刈払い機はやはり必須。調子に乗っていると、うっかり苗木を刈ってしまうこともあるとか。

植林前の「地拵え」にも刈払い機は活躍します。地拵えは、余計な草や育ち損ねた木を刈って苗を植えやすくする作業です。…え？草を刈る機械なのに木が刈れるのか？はい、太い竹や直径5センチくらいの木ならバリバリ刈っちゃいますヨ。

刈払い機は草のレベルに合わせて刃を替えることができます。刃の種類は大きく二つ、打撃で切るものと鋭利さで切るものに分かれています。山仕事



左、講師の安部先生

で使うのは、ハードな作業に耐える鋭利な刃。刃物なので切れ味が命。使用前に必ず研いでいます。円盤状の刃を均等に研ぐのはなかなか難しく、腕の見せ所です。

刈払い機を使うのに特別な免許はいりませんが、仕事で扱う場合は講習を受ける必要があります。講習では、安全な使い方、作業のコツ、メンテナンスの方法などを学びます。自己流でも使えるけど、改めてプロの方に教わると目から鱗がポロポロ。とっておも薦めです！しんりんでも講習を開催できるので、興味がある方は是非お問い合わせ下さいね。☑

手のひらに 太陽の家

tenohira-press | 通信 |

里の暮らしをつないでゆく



手のひらに太陽の家がある登米町の周辺には豊かな自然があります。人は自然のサイクルの中で、四季折々の実りをいただくような工夫を積み重ね、里の暮らしを育んで来ました。現代では生活様式も人の趣向も変わってきましたが、ご近所のみなさんに協力していただき、もう一度自然の恵みと昔ながらの手法を見直し、旬のものを楽しみながら私達の生活をみつめなおせたらいいな、という講座をはじめました。年4、5回の予定で開催します。5月は竹の子でした。今年はどこも竹の子が大豊作。6月10日は梅の会を開催します。新しい情報はfacebookページをご覧ください。I

ご興味のある方は
手のひらに太陽の家までご連絡ください。

手のひらに太陽の家 TEL 0220-23-9755

一般社団法人くりこま高原自然学校

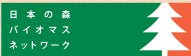
TEL&FAX 0228-46-2626 / E-mail kouei@kurikomans.com

facebook 手のひらに太陽の家プロジェクト

検索



mont-bell



手のひらに太陽の家では研修宿泊、ワークショップ、イベント時のレンタルスペースの利用など、ご希望にあわせてご相談に応じます。ぜひ一度お気軽にお問い合わせ下さい！

FunwaReview

清和研二・有賀恵一

サステナライフ森の家
富張信司

樹と暮らす 家具と森林生態

ふんわりを手にとってくださる方は、森や木材が好きな方が多いと思います。そんな皆さんにおすすめなのが「樹と暮らす 家具と森林生態」です。

樹が好きな人は木材になった姿が、木材が好きな人は樹の時の姿がまったく一致しません。私もその一人です。その両方が解り易く解説されているのです!!

色々な樹種の生態と木材としての使われ方が解説されています。こんな樹、家具で使えるの?と思うような果樹やツル、植栽木なども紹介されています。

森林生態パートは東北大学大学院農学研究科教授の清和先生。先生は、鳴子の東北大学フィールドセンターで日々研究されています。木材利用部分は建具・家具職人の有賀さん。それぞれ専門部分をエッセイ風の記事や植物のスケッチ、家具としての実際の利用例などが写真で紹介されていて、魅力がたっぷりです。

樹と木材への著者の溢れんばかりの愛情が伝わってきます!! S



編集部員の本棚より

働く車大集合！



fork lift

今回は普段くりこまくんえんの工場で働いている重機をご紹介します。

工場の中では人の力では動かさない物がたくさんあります。太い丸太や製材した製品等大活躍している重機たちです。

①フォークリフト

製材後の製品の移動や出荷時のトラックへの積み込み等に活躍します。

②ホイールローダー

くりこまくんえんでは主に丸太の移動などに使用しています。

現在2台で稼働し、丸太をつかむアタッチメントを取り換えて土の運搬や冬には除雪まで出来ます。

③パワーショベル

パワーショベルにグラブプルと言う丸太をつかむハサミのアタッチメントを付け、丸太の選別や積み下ろしを行っています。

グラブプルソーと言うハサミにチェーンソーが付いた物もあり、つかんだままカット出来る物もあります。

山林・工場を合わせると9台が毎日稼働しています。

今回ご紹介した重機の他にもその用途に合わせた様々な重機が日々活躍しています。これからも少しずつご紹介していきますので楽しみに!! ☺

power shovel



wheel loader



KURI[▲]OKU

株式会社くりこまくんえん

〒989-5401 宮城県栗原市鶯沢袋島巡44-7

☎0228-55-3261 info@kurimoku.com

<http://www.kurikomakunen.jp/>



「あんたは楽ができていいねえ」——自然学校の向かいに住む、86歳のおばあちゃん。三男の顔を見に来てくれた、帰りにこう言った。一瞬、どんな意味なのかわからず、反応できなくて顔が硬まってしまった。

栗駒山で男の子3人育児、という私の暮らしに、たいていの人は「大自然の中でうらやましい」「たたくましいです」「大変なのによくやっていけるね」と言ってくれる。だけれど、戦後にこの山を切り拓いて生きてきた時代には、子育てという時間さえもなかった。

開拓時代は、妊娠中でも麓の町と山を、炭や米を背負って歩いたそう。栄養不足だからお産のときも陣痛が弱くて、3人がかりでお腹の上からぎゅーぎゅーと押し付けてもらって、ようやく出産した。

出産後は赤ちゃんを家の中にくくりつけて、授乳は1日3回だけ、あとは畑で働いた。赤ん坊はお腹が減って泣きつかれて、自分の指先を吸い続けて爪が抜けていたこともある。「よっぱら空腹だっただろうね、可哀想に」と思って、涙を流しながら畑で働いたんだ。あんたはみんなに力を借りて子育てをさせてもらって、幸せだねえ。」と、60年前にこの場所で子どもを授かったおばあちゃんは言った。

洗濯も寝不足も、0歳から5歳まで3人と向き合いながら、ちよっとしたこと今日もああ大変!と思うってしまうけれど、「あんたは楽だね、幸せだね。」という言葉も思いつく。子どもたちの爪を切るたびに、あ、やっぱり幸せなんだな、と思っている。K

すがっちくくりこま高原自然学校のスタッフで3児の子育て中。天性のホスピタリティで来る人々をもてなし続けている。栗駒山にお越しの際は、自然学校にも、いらっしやい!



塚原俊也

くりこま高原自然学校のアクティビティ担当。運営から指導まで八面六臂の大活躍。静かに燃える闘志は炭火のように強くて温かい。

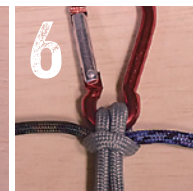
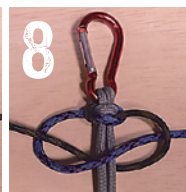
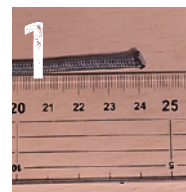
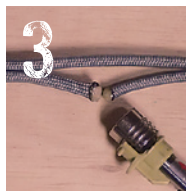


材料と道具



パラコードキーホルダー

- 1 芯になるパラコードA(今回は灰色)を切る
- 2 キーリングやカラビナなどに写真のようにパラコードAを通す
- 3,4 コードAの末端をライターで焼いてつなぐ
- 5 パラコードB(青迷彩)とパラコードC(迷彩色)を切って末端をライターで焼いてつなぐ
- 6 芯の付け根に通して平編みをする
- 10 余ったコードを切りライターで末端を処理する



工房 koubou

はの火歩平穂
はひふへほ

つかちゃんが見たり・聞いたり・教わってきた、暮らしに使えるクラフトをこ紹介します。

山への恩返し

今年で10回を迎える「山への恩返し」が開催されました。

大崎市鳴子温泉にあるエコラの森は、30年程前に乱伐で自然の循環から外れてしまった部分がハゲ山になってしまっています。「山への恩返し」は、このハゲ山を毎年少しずつみんなの手助けで植林し循環に戻る手助けをしています。

私たちサスティナライフ森の家は、毎年、多くの丸太をエコラの森の恵みから頂いています。その恩返しに、今年もスタッフや家族で植林を行いました!! **S**



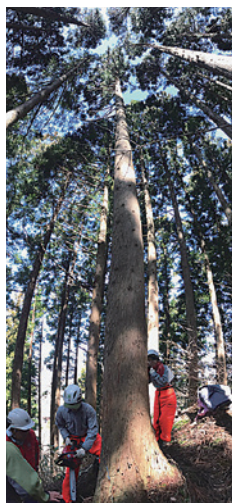
植林を始めた頃の木はもうこんなに大きく育っています。30年後50年後に私達が使える木に育ってくれるのが楽しみです!!

当日は天気にも恵まれ、地元の方もたくさん参加していただき700本の杉の苗木が無事に植林されました。

サスティナブルな森づくりと家づくり

私たちは、社名の通りサスティナブル(持続可能)な家や家具づくりを行っています。NPO法人しんりんの皆さんが持続可能な森づくりの為に伐った丸太を建築用材や家具用材に使っています。木を大切に使い50年100年と住み継がれて行く家に変身させています。

家や家具を通して森や木材を知っていただき、山へも遊びに来てください。 **S**



きこり体験、大工体験、お客様自らエコラの森で伐採し、大黒柱の加工を手伝っていただきました。



杉の色味や節を活かした椅子「NARUKO」



自然をつなげる
持続可能で豊かな暮らし

サスティナライフ森の家

夏が来れば 思い出す——



くりこま高原自然学校 常設プログラム

K
ネイチャークラフト、ブナの森トレッキングガイド、石窯クッキングなど。ログハウスやコテージの宿泊も受付中！栗駒山の森をガイドいたします。

第2回 里山のお宝をいただこう「梅の実編」

T 6/10(日)

四季折々の「めぐみ」をありがたくいただき、季節に合った昔ながらの暮らしの楽しさをちょっぴり教えていただこうという会です。(年4・5回開催)



ふんわりグッズ
プレゼント

present!

1

くりこま高原自然学校
オリジナル手ぬぐい
【1組様】**K**



2

森林木香 きこり箸
【3組様】**S**



3

ふんわりと同じ
森林認証紙で作った
10x10x10cmメモ
【3名様】



巻末の応募券とともに希望の番号を書いてご応募ください。その際以下の項目もお書き添えくだされば嬉しいです。

【①よかった記事 ②つまらなかった記事 ③プレゼント応募の理由 ④プレゼントの使い道 ⑤ふんわりを手に入れた場所】

カウボーイキャンプ

☑ 7/25(水)-28(土)

夏休み、馬と過ごす3日間。室根高原の自然の中で、仲間と一緒に乗馬にチャレンジ!



森のようちえん・小学校 夏の親子キャンプ

☑ 8/25(土)-26日 (1泊2日)

森で育つ子どもたち。キャンプでは森遊びと川遊びにチャレンジ。親御さんと一緒にアウトドアを満喫します。



森のようちえん・小学校

☑ 6/17(日), 7/8(日)

テーマは「は・ひ・ふ・へ・ほいく」! 栗駒山の自然の中で、大人も子どももリラックス♪



夏休み川遊びキャンプ

☑ 8/2(木)-5日 (3泊4日)

小学4年生~中学3年生対象の冒険キャンプ。夏休みは仲間と一緒に思いっきり川遊び! テント泊、川遊び、ナイフでクラフトなど、どっぷりたっぷりアウトドアの世界へ!



夏休みぼくらのキャンプ

☑ 8/18(土)-21(火) (3泊4日)

小学1年生~中学生対象の夏休みキャンプ。栗駒山で暮らし体験&山の夏を満喫しましょう。

日 月 火 水 木 金 土

1 2

3 4 5 6 7 8 9

10 11 12 13 14 15 16

17 18 19 20 21 22 23

24 25 26 27 28 29 30

1 2 3 4 5 6 7

8 9 10 11 12 13 14

15 16 17 18 19 20 21

22 23 24 25 26 27 28

29 30 31

1 2 3 4

5 6 7 8 9 10 11

12 13 14 15 16 17 18

19 20 21 22 23 24 25

26 27 28 29 30 31

1

2 3 4 5 6 7 8

9 10 11 12 13 14 15

16 17 18 19 20 21 22

23 24 25 26 27 28 29

30

1 2 3 4 5 6

7 8 9 10 11 12 13

14 15 16 17 18 19 20

21 22 23 24 25 26 27

わたしたちのこと。

ふんわりをキーワードに集まった私たち。
業種もフィールドも違うけど、ユニークでオンリー
ワンで、おもしろいことができそうです。

くりこま高原自然学校
☎ 0228-46-2626
宮城県栗原市栗駒沼倉耕英中 57-1
<http://kurikomans.com/>
栗駒山麓をフィールドに、栗駒山、ブナの森、
世界谷地湿原など大自然をご案内します。

KURIKOMU
(株)くりこまくんえん
☎ 0228-55-3261
宮城県栗原市鶯沢袋島巡 44-7
<http://www.kurikomakunen.jp/>
伐採・製材・チップ・ペレットと一貫した事業
を行っている、材木屋です。お客様が安心し
て暮らせる木材を提供しています。

NPO法人 しんりん
☎ 0229-25-4668
宮城県大崎市鳴子温泉玉ノ木 70 番地
エコラの森 内
<http://shinrin.or.jp/>
森林再生と地域活性化を目指し、持続可能な
森づくりときこりの育成を実行中。

日本の森バイオマスネットワーク宮城支部
office@jfbn.org
宮城県栗原市鶯沢袋島巡 44-7-2階
<http://jfbn.org/>
森と暮らし、山も人も元気になる持続可能な社
会を目指し、森林資源普及に取り組んでいます。

手のひらに太陽の家
☎ 0220-23-9755
宮城県登米市登米町寺池辺室山 17 番地 1
<http://taiyounoie.org/>
東日本大震災で被災した子どもたちを受け入れ
ている復興共生住宅。環境教育、企業研修、
レンタルスペースなど多面的に事業を展開中。

サスティナライフ 森の家
☎ 022-725-2775
宮城県仙台市泉区福岡字西森下 39-13
<http://www.sustainallife.co.jp/>
地域の資源や職人の技術を次代に受け継ぐ、
「サスティナブルな暮らし」を提案する住宅会社。



記事執筆・お問合せ…記事最後のアルファベットをご参照ください。

- ㊦ 日本の森バイオマスネットワーク
- ㊧ くりこま高原自然学校
- ㊨ NPO法人 しんりん

- ㊩ サスティナライフ森の家
- ㊪ 手のひらに太陽の家
- ㊫ くりこまくんえん

ふんわりに広告を載せてみませんか。

詳しくは編集部までお問合せください。

ふんわり 第27号

[宮城版]

【2018年6月10日】季刊(年4回発行)

ふんわり編集部

〒981-3225

宮城県仙台市泉区福岡字西森下39-13

☎022-725-2775

funwariinfo@gmail.com

twitter funwari_miyagi

f freefunwari

Funwari-report
フンワリレポート!

南三陸町にあるのぞみ福祉作業所には全国
から牛乳パックや酒パックが送られてきま
す。みんなでその表面の防水加工を丁寧にはが
し、更に細かくこまかくちぎり、最後はミキサー
で繊維にして、新しいカタチに漉いていきます。
そこに利用者さんが書いた文字、「ARIGATO」
「OMEDETO」が利用者さんの手で一枚一枚印刷
(活版印刷) されます。多くの人の手と想いが詰
まった手作りのカード「kimoti/katati」にあなた
の想いを込めてみませんか?

「ありがとう」の想いを手渡きの
カードで伝えるメッセージカード
kimoti/katati



**NOZOMI PAPER
Factory**

のぞみ福祉作業所 内

宮城県本吉郡南三陸町志津川沼田56-3 TEL 0226-46-5129
FAX 0226-29-6858 mail@nozomipaperfactory.com

点検で切り取り、ご希望のプレゼント
下番号をそえてご応募ください。
2018年8月31日まで有効
応募券

宮城版 5,000部

印刷: コンカツ印刷
岩手県一関市中央町1丁目7-16 ☎0191-48-5963